

令和 8 年村上市議会第 3 回定例会
一 般 質 問 通 告 書

質 問 順

9 月 7 日 (月) 午前10時開会	1	姫 路 敏	1 ページ
	2	富 樫 雅 男	2 ページ
	3	佐 藤 憲 昭	4 ページ
	4	菅 井 晋 一	5 ページ
	5	富 樫 光 七	7 ページ
9 月 8 日 (火) 午前10時開会	6	上 村 正 朗	9 ページ
	7	渡 辺 昌	1 0 ページ
	8	尾 形 修 平	1 2 ページ
	9	野 村 美佐子	1 4 ページ

質問順	1
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（16番） 姫 路 敏

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 有害鳥獣について	第2回定例会の一般質問で、ジビエとしてクマ・イノシシの解体場、そして市民及び観光客向けに旧上海府小学校を食堂としてリニューアルしてみてもどうかと提案しましたが、その後の状況を聞かせてください。 また、クマ撃退スプレー取扱説明を伴った講習会の開催についても進捗状況を聞かせてください。	市 長
2 環状3号線整備について	第1回定例会の一般質問で、瀬波温泉トンネル先線の整備について、市長から前向きな答弁を頂きましたが、その後どのように取り組んでいるのか聞かせてください。	市 長
3 村上駅前の開発について	先の見えない村上総合病院の跡地には、村上大祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを機に、おしゃぎり会館を新たに建設して「村上の祭り（村上・瀬波・岩船）を紹介する場」を設けることで観光地村上をアピールしてみてもどうですか。	市 長 教 育 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 7 番） 富 樫 雅 男

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 ゼロカーボンビジョンの進捗と課題について	地球温暖化防止を目的に、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「村上市ゼロカーボンビジョン」が策定され、再エネ・省エネ設備の公共施設への導入推進とともに、市民・事業者への普及促進を図るとしています。その中で設定された以下の7つの重点プロジェクトの進捗状況と課題等について、次の点を伺います。 ① 木質バイオマスエネルギーの地産地消については、事業者との取組が進んでいますが、今後のスケジュールと課題を伺います。 ② 災害に強い公共施設の整備について、取組の具体的な内容と課題を伺います。 ③ 情報発信拠点の整備として、道の駅朝日リニューアルに際して、再エネ・省エネ設備を導入するとしておりますが、具体的な内容と課題を伺います。 ④ 再エネ資源を活用した地方創生として、様々な取組を進めるとしてありますが、進捗と課題を伺います。 ⑤ 市内を循環するコミュニティバスのEV化について、導入後の状況と課題を伺います。 ⑥ 環境活動の推進として、家庭・事業者の再エネ・省エネ関連設備導入への支援と普及・啓発を進めるとしてありますが、具体的な取組の内容と課題について伺います。 ⑦ 地域新電力の推進として、地域新電力会社の参入促進を図るとしてありますが、取組状況を伺います。	市 長

2 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種について	高齢者の死亡原因の中で肺炎は、がんや心疾患と並ぶ死亡原因とされ、その多くを肺炎球菌感染症が占め、予防対策の取組は非常に重要です。 厚生労働省は、予防対策として肺炎球菌ワクチンの定期接種制度を進め、令和6年度からは定期接種の対象が満65歳の方に限定され、本年4月からは使用されるワクチンは23価型から一層効果と持続性が優れる20価型に変更となりました。 肺炎球菌ワクチンは御自身の意志で接種を希望し、同意を頂いた方に接種されるものですが、高齢者の肺炎予防に関して次の点を伺います。 ① 令和6年度以降の接種人数と接種率、及びワクチン接種についての本市の見解を伺います。 ② 高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種の重要性や効果などに関して情報提供し、啓発活動することが非常に重要と考えますが、市長のお考えを伺います。 ③ 令和6年度から経過措置年齢で接種できていた70歳、75歳の方は接種対象から外され、満65歳の方だけに限定されたことに関して、本市の見解を伺います。 ④ 本年4月1日から国の制度変更で使用されるワクチンが変更となったことにより、新潟県内の自治体では、自己負担額が従来の4,720円から7,920円と大幅に増え、接種率の低下が懸念されますが、市長のお考えを伺います。	市長
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 2 番） 佐 藤 憲 昭

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 本市における農業（米）政策の現状と今後の方向性について	令和7年産米をめぐっては、米価の高騰や輸入米の増加等を背景に、国内産米の需要動向に変化が生じています。その結果、大量の余剰米が発生し、今年のJA北新潟による概算金（仮渡金）は、岩船産コシヒカリで約38%下落となりました。 一方、肥料・燃料・資材価格は、中東情勢をはじめとする国際情勢の影響も受けて高止まりしており、農業者は「収入の減少」と「支出の増加」という二重の負担に直面しています。とりわけ大規模農家や農業法人の経営を圧迫し、本市農業の持続性、ひいては食料安全保障にも影響を及ぼしかねない状況と思われますが、次の点について所見を伺います。 ① 米価の乱高下に加え、来年4月から消費税減税が実施された場合、本市の農業経営にどのような影響があると考えていますか。 ② 米離れや米余りに象徴される需要構造の変化に対し、市としてどのような政策転換が必要と考えますか。 ③ 担い手不足や農地維持の危機に対し、市が描く中長期戦略をお聞かせください。 ④ 農地中間管理機構だけでは対応が難しい相談や課題に対し、市独自の支援・調整の仕組みの現状と方針をお聞かせください。 ⑤ 食料安全保障の観点から、今後の自治体農政に求められる新たな役割について、市長の考えをお聞かせください。	市 長
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 6 番） 菅 井 晋 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 道の駅朝日のリニューアル工事について	先の全員協議会で道の駅朝日のリニューアル工事について、設計事業者のミスにより、工事完成の遅れと事業費の大幅な増額について説明がありました。その原因と今後の対策、事業の進め方について以下のとおり伺います。 ① 設計ミスの原因は何か。また、市がそのミスをチェックする手立てはなかったのか伺います。 ② 設計ミスは、どの時点で誰が気づいたのですか。 ③ 大幅な工事の遅れと事業費の増額について、その責任究明とともに損害賠償を求めるべきと考えますがいかがですか。 ④ 工事期間中は道の駅に観光バスをはじめ大型車が工事の完成まで長期間にわたって入れないことから、利用者の不便とともに、朝日みどりの里の営業にも大きな影響を及ぼしています。 リニューアル工事は、道の駅各施設の通常営業を前提とした工事であり、工事の進め方に問題があるのではないかと考えますが、見解を伺います。 ⑤ 令和9年4月から既存施設を運営するという「あさひミライ共創パートナーズ」は、全ての既存施設を今までどおり運営することになるのか伺います。	市 長
2 小学校の水泳授業について	今年は全国で海や川での水の事故が、多く報道されていますが、何とも痛ましい限りです。かつては全国的に学校の授業で、ほとんどの人が水泳を覚えたと思いますが、市内小学校における水泳授業の現状と課題について以下のとおり伺います。 ① 自校のプールで水泳授業を実施している学校を	教 育 長

	教えてください。 ② 自校のプールで水泳授業を実施していない学校は、どのような手法で水泳授業を実施していますか。 ③ 水泳授業は、プールの老朽化や施設の維持管理、安全対策、教員の負担の大きさなど、様々な課題もあると思いますが、是非今後とも継続を望みたいと思います。水泳授業の今後の方針について伺います。	
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 4 番） 富 樫 光 七

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 畜産臭気問題における住民生活の保全と、持続可能な畜産業の育成について	市内の一部地域において、住民から畜産臭気に関する相談や苦情が寄せられています。 従前より市は、関係法令に基づいて被害防止に向けた取組を進めていると聞いていますが、次の点について伺います。 ① 生活環境への影響をどのように捉えているか伺います。 ② 臭気等の課題がある一方で、持続可能な畜産業の育成も重要と考えますが、その取組状況について伺います。	市 長
2 村上市における林業振興と市営中川原住宅改築について	国及び新潟県は「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、公共建築物の木造化を強力に推奨しています。 また、市内では一般住宅着工戸数が減少傾向にあり、地元工務店や大工、林業・製材業が非常に厳しい状況に置かれている一方で、土木業者は災害復旧やインフラ工事で多忙を極めています。 その中で次の点について、伺います。 ① 地元の施工キャパシティと経済循環をどのように捉えているか伺います。 ② 市営中川原住宅の改築について、R C造4階建てにはエレベーターの定期点検や将来的には大規模修繕・更新費用が不可欠です。一方、木造2階建てであれば高額なエレベーター設置・維持費を削減でき、1階住戸を車椅子対応・バリアフリーとすることで高齢者や障がい者の利便性も確保できると考えます。イニシャルコストだけでなく、将来のランニングコスト（維持管理費）を含めた	市 長

	ライフサイクルコストの比較検討は行われたのか伺います。 ③ 本事業は調査・設計費等で既に約5,000万円が投入され、RC造での計画が公表されています。しかし、実際に18億円超の莫大な事業費が示されたのは本年2月です。5,000万円の調査費を理由に18億円超の計画をそのまま推し進めることは、将来の市民に対する財政責任を果たしていると言えるでしょうか。大幅なコスト削減が見込まれる木造化へシフトする再検討の余地はないか、市長の見解を伺います。	
[メモ]		

質問順	6
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 5 番） 上 村 正 朗

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 子どもに対する支援について	子どもたちが健やかに成長できるように環境を整えることは地域及び社会の重要な役割だと考えますが、次の事項について伺います。 ① 小学校や中学校における不登校の児童・生徒の現状と支援の状況、今後の課題についてお聞かせください。 ② 高校における不登校の生徒の現状と支援の状況を市としてどのように把握しているか。また、今後の課題についてお聞かせください。 ③ 高校中退者等、高校生世代の子どもたちに対する支援の現状と今後の課題についてお聞かせください。	市 長 教 育 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（11番） 渡 辺 昌

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 投票時間一元化と開票開始の繰上げについて	本市においては、市町村合併以前の経緯から旧町村部及び旧市部の一部の投票所において、投票時間の繰上げ措置を継続してきました。現在、市内全70投票所のうち、午後8時まで開所しているのは市街地の11投票所に限られています。 しかし、期日前投票制度が定着し有権者の投票機会を担保する施策が進む一方、人口減少や高齢化など社会状況の急激な変化により、従来の投票環境の維持が難しくなっていると考えられることから、次の点について伺います。 ① 住む地域によって投票時間に2時間の開きがあることによる地域格差や不公平感の懸念について、見解を伺います。 ② 本市における期日前投票の現状及び今後について、どのように分析されているか伺います。 ③ 午後8時まで開所している11投票所での当日投票者における午後6時以降の投票者の割合について、どのような認識か伺います。 ④ 長時間の拘束を伴う投票管理者及び投票立会人の確保の現状や課題について伺います。 ⑤ 早朝から深夜に及ぶ投開票事務に従事する市職員の負担について、市ではどのような認識か伺います。 ⑥ 仮に全投票所を午後6時閉鎖に統一し、開票開始の1時間繰上げによる人件費等の削減効果について伺います。 ⑦ 県内や県外の自治体における投票時間の繰上げの状況について把握されているか伺います。 ⑧ 投開票時間に関するアンケート調査を実施し、	市 長 選挙管理委員長

	市民の意見の可視化が必要と考えますが、見解を伺います。 ⑨ デジタル技術の導入など、投開票事務の迅速化や効率化を図る取組の現状、今後の計画の有無について伺います。	
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（12番） 尾 形 修 平

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 道の駅朝日リニューアル整備事業について	先日の全員協議会において、設計業者の設計ミスによる工期の延長と、それに伴う工事費の大幅な増額に関して担当課より説明がありましたが、次の点について伺います。 ① 荒川総合体育館大規模改修工事に引き続きこのような事態が発生したことについて、どのように受け止めているのか伺います。 ② 工事費が約7億円もの増額となり、当初予算の33億円を大きく上回り、約40億円になるとのことですが、増工分の内訳を伺います。 ③ 最近の入札状況を見ていると「不調・取止め」の案件が多々見受けられますが、過去3年間の状況を伺います。	市 長
2 市道の維持管理と景観について	異常気象によるゲリラ豪雨のニュースが毎日のように流れており、最近の千葉県や石川県、富山県、福井県の大雨被害は本市でも令和4年8月に経験した豪雨災害が思い出され、切ない思いに駆られました。 百年に一度と言われるような豪雨災害が毎年のように全国各地で発生していますが、次の点について伺います。 ① 本市は、雨水排水と下水道が別系統で処理されていますが、雨水（道路排水）においては、日頃の維持管理が重要と考えています。しかし、各町内単位での側溝等の清掃も年々負担が増えている状況ですが、今後の維持管理に関するお考えを伺います。 ② 本市は約1,500kmの市道を有していますが、市	市 長

	街地でも雑草の繁茂が多々見受けられます。観光文化都市を標榜する本市にとって、美観・景観は大きな資源と考えますが、市長の所見を伺います。 ③ 本市では、村上市ごみの散乱等防止条例を制定していますが、現在までに指導及び助言、または勧告及び命令を発出した事例はあるか伺います。	
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 3 番） 野 村 美佐子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 災害時の避難所について	今年も熊本地震や、千葉県や石川県、富山県、福井県の大雨被害など大きな災害が発生しています。温暖化などの影響で猛暑、酷暑が続く中、災害関連死を防ぐためにも、災害時の避難所対策はますます重要になっていると考えますが、次のことを伺います。 ① 指定避難所になっている学校体育館のエアコン設置の現状と今後の計画について伺います。 ② 村上市国土強靱化地域計画には、「指定避難所に指定されている学校施設にはマンホールトイレの整備や自家発電設備、備蓄倉庫の整備、バリアフリー化などの環境改善が必要」となっていますが現在の状況を伺います。 ③ 災害用物資、機材などの備蓄状況は市のホームページに公表されていますが、各施設や備蓄倉庫ごとに備蓄状況が分かるようになっている必要があると思います。施設等ごとの備蓄状況について、現状を伺います。 ④ 福祉避難所は、事前に直接避難できることが決まっていなければ利用できない仕組みになっていますが、在宅の要援護者に対しての希望などの把握はどのように行っているか伺います。	市 長 教 育 長
2 学校給食について	学校給食は、単に児童・生徒に昼食を提供するだけでなく、食育や地産地消、更に災害時の食事支援など様々な役割を担っています。 一方で児童・生徒数の減少や調理場の老朽化、調理員の確保など学校統合をめぐる環境は大きく変化していくことが予想されます。	教 育 長

3 熱中症対策エアコン 設置費補助事業について	第2次村上市立小・中学校望ましい教育環境整備方針によると、「学校統合と関連しながら、より衛生的な最新の設備を要し、大規模の食数を担える給食センターを建設することで、小規模な共同調理場や単独調理場の統廃合に努めてまいります」との方針が出されています。そこで次のことを伺います。 ① 施設を集約した場合の財政効果について伺います。 ② 地場産食材の使用量や割合は増えているか伺います。 ③ 自校式や共同調理場を災害時の地域への食事提供拠点として活用する考えはあるか伺います。 今年度より、補助対象を精神障害者世帯やひとり親世帯にも広げられたことは大きく評価できますが、エアコンの省エネ基準の引上げで2027年から値段が上がるのが考えられます。猛暑、酷暑でエアコンは命を守る必需品になっていることから、補助金の上限を引き上げることや故障した場合も対象にすることなど、拡充する考えはないか伺います。	市長
[メモ]		